

川島小学校・くぬぎ台小学校 小規模校対策検討委員会ニュース

発行日：平成23年7月15日

発行：検討委員会事務局

第1回検討委員会 開催

☆平成23年7月4日(月)19時00分から
西谷中学校・会議室にて

決定事項等

- 委員長、副委員長の選出を行い、検討委員会の運営方法について決定しました。
- 川島小学校・くぬぎ台小学校の現状と課題について、共通の認識を持ち、検討委員会として小規模校対策について議論をしていくことを確認しました。

1 検討委員会の設置趣旨

「川島小学校・くぬぎ台小学校」小規模校対策検討委員会設置要綱(抜粋)

(設置)

第1条 横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針に基づき、川島小学校・くぬぎ台小学校の小規模校化が抱える諸問題に関し、その解消及び児童の教育環境の向上について検討するため、「川島小学校・くぬぎ台小学校」小規模校対策検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(検討事項等)

第2条 委員会は、小規模校化の対策を検討することとし、検討結果をまとめた意見書を横浜市教育委員会に提出する。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 連合町内会長
- (2) 自治会町内会長又は自治会町内会が決定した者
- (3) 保護者(PTA)代表
- (4) 市立小学校長
- (5) 市立中学校長
- (6) 前各号に掲げる者のほか委員会が必要と認める者

2 検討委員会の構成

検討委員会の委員は次の方々に就任の承諾をしていただきました。また、委員長・副委員長については、「川島小学校・くぬぎ台小学校」小規模校対策検討委員会設置要綱に基づき、協議の結果、次のとおりとなりました。

『委員長』	鈴木 方規	くぬぎ台団地自治会長	(川島原地区連合会会長)	【敬称略】
『副委員長』	加藤 肇一	西谷第一町会長	(西谷連合町会会長)	
	三村 秀樹	川島第一町内会長	(川島東部連合町内会会長)	
	三村 珠紀	川島小学校PTA会長		
	和田 みどり	くぬぎ台小学校PTA会長		
『検討委員』	鈴木 志郎	南ヶ丘町会長	一瀬 多智雄	ハイム向台中央自治会長
	植村 昭紀	西ヶ岡自治会長	中村 伸子	向台親和会長
	田中 和子	西原若葉自治会長	藤本 利英	浄西自治会長
	御調 良子	川島第二南町内会長	木村 陽子	向台自治会長
	菊地 春男	西原グリーンハイツ自治会長	宮本 康男	南原自治会長
	飯澤 隆夫	西原自治会長	野呂瀬 有美	ハイツ南原南睦会自治会副会長
	藤井 一二三	北原自治会長	杉山 志	西川島町西部町内会長
	柳澤 末造	西谷第三町会長	峯松 比呂美	川島小学校PTA副会長
	西塚 道廣	西谷第四町会長	三浦 寿子	くぬぎ台小学校PTA副会長
	伊山 俊一	西谷第五町会長	岡本 三千男	西谷中学校PTA会長
	加藤 啓一	西谷第六町会長	小池 慎一	川島小学校校長
	犬飼 徹雄	西谷第七町会長	藤井 芳樹	くぬぎ台小学校校長
	信清 實	川島第二町内会長	三宅 一彦	西谷中学校校長
	菅野 源亮	川島第三町内会長		
	三村 佐一郎	川島第四町内会長		

3 検討委員会の運営方法

検討委員会の開催にあたり、「代理出席」「傍聴」「情報提供」について話し合いを行い、次のとおり決定しました。

「代理出席」

代理出席は認めるが、代理出席者は委員の代理として必要な伝達を受けたうえで、委員からの事前の引き継ぎ事項以外の意見具申は控えてもらうこととする。なお、代理出席者は欠席した委員に、検討委員会の報告と引き継ぎをすることとする。

「傍聴」

傍聴を認めることで、開かれた検討委員会の運営というメリットがある反面、各委員が傍聴者を意識して、主体的な意見が述べにくくなる。あるいは検討委員会の運営内容などが傍聴者から不正確に外部に伝わるおそれがあるなどの点から、原則非公開とする。ただし、報道機関等から傍聴の申し出があった場合は委員長の判断に委ねることとする。

「情報提供」

検討委員会の議事内容を掲載したニュースを作成して

- ①関係する地域への全戸配布
- ②両小学校の児童を通じて保護者に配付
- ③教育委員会ホームページへの掲載等

により周知を図っていきます。

4 検討委員会での検討事項

「川島小学校・くぬぎ台小学校」小規模校対策検討委員会設置要綱に基づき、次のとおり進めていくことを確認しました。

検討結果をまとめた意見書の作成

- ・ 小規模校対策について
- ・ 学校統合が必要かどうかについて

【学校統合が必要な場合】

- ・ 統合時期について
- ・ 設置場所について
- ・ 通学区域について
- ・ 学校名について
- ・ 通学路対応について
(通学安全や防犯に考慮する)
- ・ 統合校の教育内容について
- ・ その他

提出



教育委員会
(教育長)



横浜市会に「横浜市立
学校条例の一部改正」
を提案



市会議決
(正式決定)



5 検討委員会での主な質問・発言

☆ くぬぎ台小学校の現状・実際の取り組みについて、くぬぎ台小学校の校長先生として、どのように考えているのかをお聞きしたい。（鈴木委員長）

→ 学校中の教育活動としてはクラス替えはできないというデメリットがあります。それをカバーする取り組みで、子ども達への配慮として毎日の様子の変化を担当が敏感に察知しています。また、全職員が全児童の子どもの名前と顔が一致するので、いろんな所で子どもたちを見守り、担任に報告することができます。横のつながりだけでは固定的になるので、特に縦のつながりを大事にしていく中で、「くぬぎっ子班」という、1年生から6年生の子どもたちが縦に6つに分かれてお互いの学年を有効に使いながら、上級生は下級生を大事に、下級生は上級生に学び、というところで取り組んできました。単級の中で学級編成替えができないデメリットをメリットとしてカバーする取り組みが一番大きい取り組みです。（くぬぎ台小学校 藤井校長）

☆ 単級の学校にもメリットはあるが、いじめの問題が1年から6年まで続いてしまうとか、クラス替えができないという弊害が出てくる。いい意味で、すくすくと、子どもたちが6年間過ごせればいいが、何か問題があった時に、弱い子どもが押しやられてしまうような教育環境になってしまうかもしれない。メリット・デメリットがあると思うが、このことも踏まえて検討を進めていきたい。（鈴木委員長）

☆ 西谷駅周辺については、相鉄線が東京方面に延伸する計画がある。この件については西谷連合町会のところになるが、人口分布とかの議論はされているのか。（鈴木委員長）

→ まだ人口の変化とかの話までにはなっていないです。特に国道16号線から南側については人口が増加する場所は余りありません。上菅田側であれば、まだ土地があり住宅が建つ余地はあるが、国道16号線と帷子川の間では余地がありません。（加藤副委員長）

☆ 保護者の中でアンケートをして欲しいという意見があり、急きょ6月29日に臨時役員会を開催しアンケートを作成して当日くぬぎ台小学校の保護者に配付しました。今朝（7月4日）提出締切で、まだPTAで集計・内容については把握できていません。アンケートの内容をまとめた物を事務局に提出します。（くぬぎ台小学校 和田PTA会長）

→ 次回の検討委員会で提出していただいたアンケート結果を配付します。（事務局）

6 川島小学校・くぬぎ台小学校の現状について

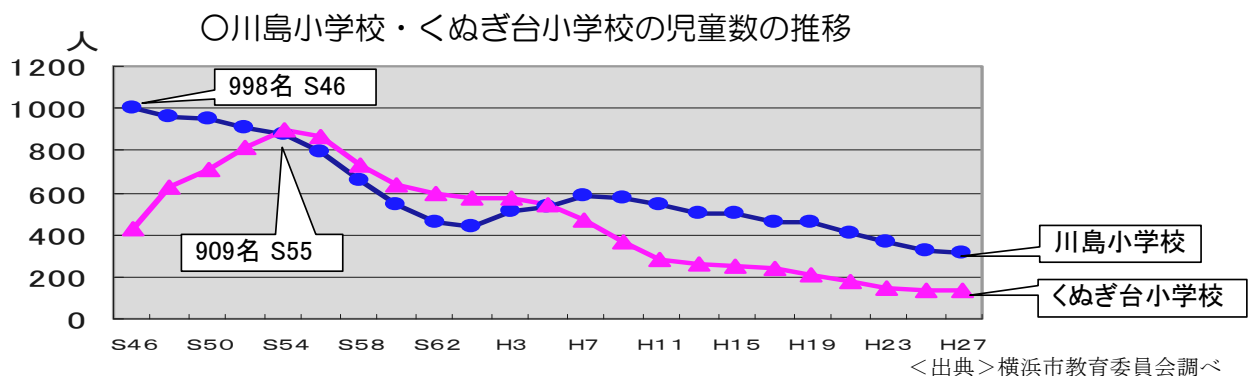
（事務局より説明）

	川島小学校	くぬぎ台小学校
開校年度	明治8年（136周年）	昭和46年（40周年）
親校	—	川島小学校
建築基準年	昭和41年（築45年）	昭和45年（築41年）
普通教室数	18教室	13教室
小中一貫教育	両校共に、西谷中学校学区 西谷中学校：川島小学校、くぬぎ台小学校、鶴ヶ峯小学校、市沢小学校	
その他	・地域防災拠点	・地域防災拠点 ・コミュニティハウス

川島小学校・くぬぎ台小学校の今後の推計

川島小	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	普通教室数
児童数	384	364	335	325	322	314	314	18
学級数	12	12	12	12	12	12	12	
くぬぎ台小	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	普通教室数
児童数	153	152	138	139	144	136	134	13
学級数	6	6	6	6	6	6	6	

（平成22・23年度は実数値。平成24年度以降は、平成22年度義務教育人口推計による推計値）



保護者説明会を次の日程で開催しました。

☆平成23年6月4日(土) 18時00分から くぬぎ台小学校体育館にて 参加者70名
 ☆平成23年6月5日(日) 10時00分から 川島小学校体育館にて 参加者70名

○説明会での主なご意見・ご質問

【共通】

☆ 統合について、これから検討するという事か。それとも決定なのか？

→ 初めから統合ありきという話ではありません。これから検討委員会で検討していただくことになります。

☆ 統合は最終的にどういう判断で誰が決めるのか？

→ 統合については白紙です。決まるまでのプロセスは、まず検討委員会で意見をまとめていただき、委員長より意見書という形で提出していただきます。教育委員会ではいただいた意見を参考に、それを合議制の教育委員会の中で諮ります。その後、横浜市会で横浜市立学校条例の改正について審議が行われて議決をいただくことになります。この時点で統合が決定します。

【くぬぎ台小学校】

☆ 統合が決定した場合これから入学する子は統合校に通わせなければならないのか？

別の学校に通わせたいと思うが、そういうことも検討委員会で検討されるのか？

→ 検討委員会では通学区域についても検討します。通学区域の見直しが必要という意見があれば、周辺校の通学区域の見直しも併せて検討していただくことになります。

☆ 統合されると通学路も変わってくる。場所によっては危険なところもあるので、歩道を作るとか道幅を広げるとかを考えているのか？

→ 統合すると通学路も変わってきます。検討委員会では想定される通学路についても見ていただいて、安全面などについて問題があれば意見を出してもらいます。その意見については、要望という形で区役所の土木事務所や警察に提出して改善の依頼をしています。

☆ 自分たちの意見を言う場はあるのか。情報の提供はどのようにされるのか？

→ 検討委員には、地域の代表者として自治会・町内会長、保護者の代表としてPTA会長等に参加してもらいます。情報の提供については、検討委員会ニュースを作成し各家庭に個別配布します。

【川島小学校】

☆ 小規模校は市内に他にもあるのか？また小中一貫教育というのは初めて聞いたが、西谷中学校との統合というのも視野に入れているのか？

→ 市内の小規模校の数は、平成22年度で小学校30校・中学校12校となっています。平成22年度の推計では今後も児童数は減少していくため、平成28年度には小学校は56校まで増える見込みです。小中学校の併設については、今回は西谷中学校を含めてということはありません。

☆ 西谷については相鉄線が東京方面に延伸する計画があるので、児童が少し増えるのではないのか。これも含めて子どもの増減等を検討していただけるのか？

→ 西谷駅周辺については、関係部署から情報を収集していますが、現時点でどの程度開発されるのか、それに伴いどの程度人口が増えるのかはわからない状況です。計画の内容によっては児童数の推計が変わる可能性もありますが、今の時点では推計等には反映せず、検討をしていきます。

【次回の第2回検討委員会の日程】

★平成23年8月5日(金) 19時00分から 西谷中学校・会議室にて

(検討予定内容)

1. くぬぎ台小学校保護者アンケートの結果報告
2. 小規模校対策の方向性について
3. その他



「川島小学校・くぬぎ台小学校」小規模校対策検討委員会の経過、横浜市の基本方針等はホームページでもご覧いただけます。

・基本方針など <http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/kyoiku-info/gakku-houshin.html>

・「川島小学校・くぬぎ台小学校」小規模校対策検討委員会

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakku/shoukibo/>



「川島小学校・くぬぎ台小学校」小規模校対策検討委員会では、常に皆さまからのご意見を受付しております。FAXかEメールにて、事務局(学校計画課)までご連絡ください。

*「川島小学校・くぬぎ台小学校」

小規模校対策検討委員会事務局 (学校計画課)

TEL:045-671-3252 FAX:045-651-1417

Eメール: ky-hodogaya@city.yokohama.jp

